

臨床研究へのご協力のお願い

東京医科大学茨城医療センター消化器外科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

食道癌に対する集学的治療に対する評価の検討 後方視的多施設観察共同研究

[研究の背景と目的]

食道癌は予後不良な疾患で、近年では欧米に多い下部食道のバレット上皮由来の腺癌も増加してきています。食道癌の危険因子は飲酒、喫煙が知られ、治療方針決定にも大きなウェイトを占めています。ステージ1の食道癌においては深達度、範囲により内視鏡的治療、放射線化学療法、手術切除が選択され、ステージ2,3においては手術が可能であれば化学療法後手術が選択され、手術が不可能な全身状態の場合はステージ4同様放射線化学療法や化学療法がなされてます。このため、食道癌診療ガイドラインに従った治療において、これまでの施設の治療効果、問題点をこの臨床研究では明らかにします。

[研究の方法]

対象となる方

2006年1月1日から2024年12月31日までに東京医科大学茨城医療センター消化器外科で治療された食道癌の患者さん

研究期間

倫理審査承認日から 2027 年 3 月 31 日

利用する検体やカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、入院日、退院日、予後期間、血液検査、病理診断結果、治療内容、治療効果

これらのカルテ情報を用いて解析します。

検体や情報の管理

研究責任者は、本研究に関わる情報を、少なくとも、研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、その後は個人情報に注意して廃棄します。

[研究組織]

研究責任者:東京医科大学茨城医療センター消化器外科 主任教授 鈴木 修司
研究分担者;八王子消化器病院 外科 顧問 林 恒男(情報収集)

[個人情報の取扱い]

研究実施に係る情報を取扱う際は、研究対象者の個人情報とは無関係の符号又は番号との対応表を作成のうえ、どの研究対象者の情報であるかが直ちに判別できないよう匿名化して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮します。対応表は本研究に一切関与しない本学消化器外科学分野 鈴木修司の下で管理されます。研究結果は、研究対象者にプライバシー上の不利益が生じないよう、適切に匿名化されていることを確認したうえで公表を行い、研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用いたしません。

[問い合わせ先]

研究責任者:東京医科大学茨城医療センター 消化器外科
主任教授 鈴木 修司
研究内容の問い合わせ:東京医科大学茨城医療センター 消化器外科医局
鈴木 修司
電話:029-887-1161(応対可能時間:平日9時～16時)